

# 「いのちと暮らしがいはばん」 安心と希望の下妻市をいっしょに

—市民の声と発言力で市政を動かす—

## 日本共産党



下妻市議会議員

# 平井 まこと

### プロフィール

■1945年(昭和20年)下妻市上宿に生まれる ■県立下妻一高卒 ■東陽相互銀行(現筑波銀行)に24年間勤める ■下妻市議8期 ■趣味:絵画観賞 ■下妻乙569-10(小野子)在住  
☎0296-44-4068

## 日本共産党



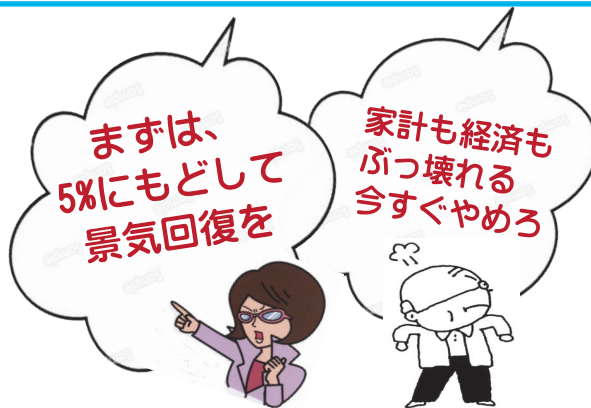
### しもつま民報

日本共産党  
平井まこと市議の  
活動をお知らせします。

2019年11月号外

発行/日本共産党下妻市委員会  
☎0296-44-4068

## 消費税10%強行 安倍大増税 5%→8%→10%



国民の反対を無視して10月1日から消費税10%が強行されました。「もう店をたたむしかない」という商店の方々、「制度が複雑でよくわからない」など怒りと混乱の中でのスタートでした。本来、税金は応能負担の原則に基づいて、大もうけしている大企業・富裕層からとるべきです。

日本共産党はまず消費税を5%に引き下げ、景気回復、暮らし応援の政治にきりかえようと、多くの団体・個人に呼びかけています。

署名も取り組んでいますのでご協力ください。

## 国・県言いなりの市政から 市民の暮らしを守る市政へ



—消費税増税にともなう値上げラッシュは市民の暮らしを直撃—

9月の定例市議会に消費税10%にともなう値上げ(案)が提案されました。

- 上下水道料金が11月分から値上げされます。
- 安倍政権は「10月から幼稚園・保育園児の保育料を無償化する」と鳴り物入りで宣伝しましたが、保育料の中にふくまれていた給食費を実費負担にすりかえて消費税増税を強行しました。

これにより、下妻市は10月から、1人当たり月額3600円の給食費が新たな負担となり保護者にズッシリ。

## みなさんと力を合わせて、 実現できました。

一部を紹介します。

### ●場外車券売り場阻止

大型ギャンブル施設の場外車券売り場設置計画(過去6回も)に反対する地元住民の方々と協力して阻止しました。

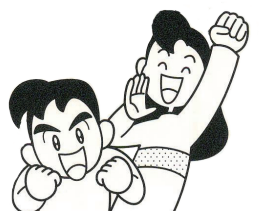
### ●ごみ処理施設・「クリーンポートきぬ」の談合問題追及

談合問題を追及し、日立造船(株)から4億5000万円を「和解金」として返還させました。

### ●障害者福祉タクシー利用料金制度の 立て替え制度を改善できました。

### ●住宅リフォーム資金制度が実施されました。

### ●高齢者福祉タクシー利用料金助成事業の助成金 枚数増など拡充できました。



# 税金の使い方を換えれば みなさんの願いを もっと実現できます

下妻市のため込み金…15億円

下妻市の一般会計当初予算は今年度168億円です。みなさんからあずかった税金が、みなさんのために使われているでしょうか。市には「財政調整基金」というなんにでも使えるため込み金が15億円あります。

税金の使い方を換え、ため込み金の一部をとりくずせば、市民の願いはもっと実現できると提案しています。

下妻市議会議員

# 平井

まこと

日本共産党

## 高すぎる 国保税

### 1世帯1万円の引き下げはできます。

「国保税が高すぎて、払い切れない」「滞納したら預金通帳まで差し押さえされた」などとあちこちから悲鳴が上がっています。

それもそのはず、下妻市の1人当たり保険料は年間98274円(平成29年度)、4人家族で年間約40万円の負担です。

平井まこと市議は、一般会計からの繰り入れとため込み金の一部を取りくずせば、1世帯あたり1万円の国保税を引き下げることがすぐにでもできることを主張しつづけています。



## 交通 手段

切実です。

### 車の免許証を返納したらどこにも行けない

「車の免許証を返納したとたんどこにも行けなくなった」など、高齢者の間に困惑の声が相次いでいます。

平井まこと市議は、高齢者が自由に買い物や病院に通えるよう「シモンちゃんバス」のコースと便数の増加、「福祉タクシー券」をもっと増やせと「移動手段」の確保に全力で取り組んでいます。



## 子育て

### 幼稚園・保育園児の給食費は無料に

安倍政権は消費税10%強行と引き換えに「幼稚園・保育園児の保育料を無償化する」と、あたかも父母負担が軽減されるかのようにゴマカシの宣伝をしましたが、保育料の中にふくまれていた給食費が実費負担となりました。これにより、下妻市の大多数の父母は園児1人当たり月額3600円の給食費が徴収されることになりました。県内では境町をはじめ、大子町、城里町などで全額を自治体が補助しています。下妻市でもすぐに実施できるものです。



## 学校給食

### 米飯・パン・めんの安定供給を

学校給食のパンをつくっている製造業者から「配達エリアが広がり、今の契約単価では限界」「夏休みは収入がストップ。しかし従業員は切れない」「人件費など最低限の保障がないとやっていけない」との切実な要望が出されています。日本共産党・江尻かな議員はこの問題を県議会で取り上げ、県教育長に「安定した主食提供を支援していく」と答弁させました。平井まこと市議は、食育の土台となる主食安定供給のために市独自の補助を求めています。



## 新庁舎 建設

### もっと市民の声を聴いて

市では新庁舎建設計画を進めていますが「よくわからない」との声が多く寄せられています。市は情報開示をきちんと行い、もっと市民の声を聴いて「計画」は市民本位で行うべきです。

